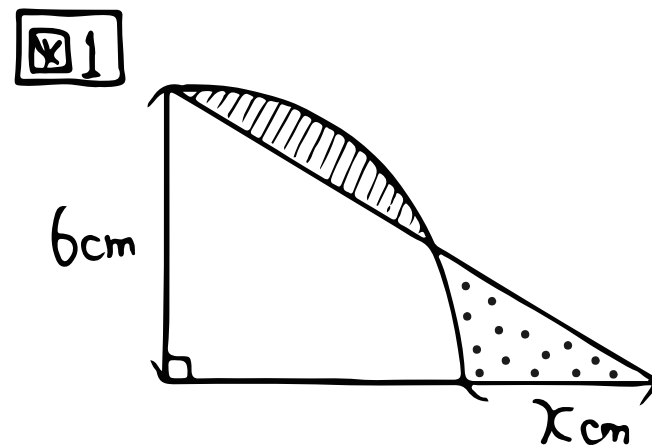


受験対策・図形10

- ① 右の図1は、半径が6cmで中心角が 90° のおうぎ形と直角三角形を組み合わせたものである。斜線の部分と点線の部分の面積が等しいとき、 x の値を求めなさい。ただし、円周率は π を用いるものとする。



- ② 右の図2は、線分ABを直径とする円Oを底面とし、線分ACを母線とする円錐であり、点Dは線分BCの中点である。AB=6cm、AC=10cmのとき、2点A、D間の距離を求めなさい。

